

## 「当面の株式市場」

年初から大きな調整となっている株式市場だが、ここまでの下落の要因を分析し、ここからの相場展開を考えてみる。年初からの日本株式市場は、世界同時株安の先陣を切るように大きな下落となっている。ここまで大きく下落した要因としては、中国を始め世界的な景気鈍化懸念ということになるのだろうが、足元の景気動向、企業業績動向を見るとここまでの急落要因ということでもないだろう。

実際の売り方としては原油価格下落による産油国の資金需要から世界的な金融資産を換金しているという面もあるのだろうが、換金売りがいつまでも続いているということではないのであり、換金売りによる下落は1月中に終わっているのではないかと思う。2月に入ってからの急落は1月以上にきついものとなっているが、大きな要因はマイナス金利政策に対する誤解からヘッジファンドなどの仕掛け売りに連れて指数先行型で大きな下げとなっているということだろう。

結局は特に理由のないなかでの売りで、「売れば儲かるから売る」ということであり、逆に言えば「売って儲からなくなったら売らない」というようなことなのだと思う。「売っていけば儲かる」ということでも個別企業の空売りということもあるのだろうが、日経レバレッジなどのいわゆる「ブル型」の売り、日経インバースのような「ベア型」の買いが先物の売りなどを誘発して下げを加速させたという面もありそうだ。

また、日経平均先物の夜間取引などで「裁定取引」が行われなかったことを良いことに、ちょっとした仕掛け的な売り買いで指数が大きく動かされたという面もあると思う。それでもそうした言わば「思惑」だけで売られた局面も、先物・オプションSQ（特別清算指数）算出が終ったことによって一服となる可能性も高そうである。世界的な金融の混乱も一服となりそうであり、リーマンショック時と違い、特にこれといった材料がないなかでの急落なので、いったん巻き戻しの動きが出始めると、今度は一気に戻すということになりそうだ。ちょうど2013年5月の急落に始まった混乱、あるいは昨年8月、

---

### <ディスクレーム>

本「緊急レポート」は、投資の参考になる情報の提供を目的として、作成されたものです。株式のリスク要因として、株価変動リスク、発行者の信用リスク等があります。投資に関する最終意思決定は、ご利用者ご自身の判断で決定されるようお願いいたします。本「緊急レポート」の情報は、その正確性、信頼性について、あかつき証券及びデータ提供者のいかなる関係者も保証するものではありません。誤字、脱字などによる単純な表記ミス等による理由も含め、何らかの理由により誤りである可能性もあります。なお、本「緊急レポート」は、株式会社Argo Navis（代表：清水洋介氏）があかつき証券との契約によって作成しています。

9月の混乱のような感じであり、そろそろ巻き戻しの動きが出て来るのではないかと思う。

ここからは日経平均は大きく下げることはないのではないかと思う。節目としては14,000円水準が「最後の砦」であり、ここを割り込むと11,000円水準がメドとなってくるのだが、そういうケースでは為替が1ドル=100円を割り込む水準となるようなことであり、現状の日米の金融政策や金利差を考えると為替も投機的な動き以外では円高も限られるということになる。こうなると上値も限られてきそうであるが、さらに下値を試す動きにはなり難いと思われる。

金融政策、特に「マイナス金利」に対する間違った認識が正される状況では「高配当利回り銘柄」を物色する動きもあって銀行株などが見直されそうである。また、この水準まで下落したことで新たに投資をする長期投資家、つまりNISA（少額投資非課税制度）買いなどが期待される、「高配当・好優待銘柄」などが物色されることになりそうである。

もちろん、配当は「減配」という心配もあるのだが、日本を代表する銘柄群として、例えば、TOPIXコア30銘柄を見ても、配当利回りが5%以上あるものが3銘柄、4%以上が4銘柄もあるというように国債の利回りなどから見ても異常なほど割安まで売られているものが多いのであるから、こうした高配当利回り銘柄をパッケージで買い、減配リスクを分散しておけば、長期投資で大いに利益を出すことができるのではないかと思う。

---

<ディスクレマー>

本「緊急レポート」は、投資の参考になる情報の提供を目的として、作成されたものです。株式のリスク要因として、株価変動リスク、発行者の信用リスク等があります。投資に関する最終意思決定は、ご利用者ご自身の判断で決定されるようお願いいたします。本「緊急レポート」の情報は、その正確性、信頼性について、あかつき証券及びデータ提供者のいかなる関係者も保証するものではありません。誤字、脱字などによる単純な表記ミス等による理由も含め、何らかの理由により誤りである可能性もあります。なお、本「緊急レポート」は、株式会社Argo Navis（代表：清水洋介氏）があかつき証券との契約によって作成しています。

<あかつき証券の営業網>

本店所在地 : 東京都中央区日本橋小舟町 8 番 1 号 ヒューリック小舟町ビル

電話番号 : 03-5641-7810

下高井戸支店 : 03-5355-0801 平塚支店 : 0463-22-0920

武蔵小杉支店 : 044-733-8000 新座志木支店 : 048-473-6441

八日市場支店 : 0479-72-1331 成田支店 : 0476-24-2061

長浜支店 : 0749-62-1900 松阪支店 : 0598-21-6616

大阪支店 : 06-6946-9220 加古川支店 : 079-423-1500

赤穂支店 : 0791-43-2155 カスタマーサポートセンター : 0120-753-960

【当社の概要】

商号等：あかつき証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 67 号

加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

<重要事項等のお知らせ>

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものです。本資料に含まれているデータ等は信頼し得る情報源から得たものですが、当社およびデータ提供者のいかなる関係者もその正確性・完全性を保証するものではありません。また、本資料内に記載された内容・意見は本資料の作成日におけるものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本資料内で言及している外国証券は、一部を除き、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示は行われていません。
- 当社や関連会社、およびその役職員が本資料内に記載の証券もしくは金融商品について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。
- 投資に際しての最終決定はお客さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。
- 本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されています。当社に無断で本資料の全部もしくは一部を引用・複製・転送等することを禁じます。

<ディスクレーム>

本「緊急レポート」は、投資の参考になる情報の提供を目的として、作成されたものです。株式のリスク要因として、株価変動リスク、発行者の信用リスク等があります。投資に関する最終意思決定は、ご利用者ご自身の判断で決定されるようお願いいたします。本「緊急レポート」の情報は、その正確性、信頼性について、あかつき証券及びデータ提供者のいかなる関係者も保証するものではありません。誤字、脱字などによる単純な表記ミス等による理由も含め、何らかの理由により誤りである可能性もあります。なお、本「緊急レポート」は、株式会社 Argo Navis（代表：清水洋介氏）があかつき証券との契約によって作成しています。

資料で言及・掲載した有価証券等のお取引にあたっては、次のような主なリスクがあります。

【価格変動リスク】

有価証券投資では、投資対象となる有価証券の価格の低下により、損失が生じるおそれがあります。債券については、金利水準の変化等により、償還前に売却する場合には債券価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

【為替変動リスク】

外貨資産への投資については、外国為替レートの変動にともなう円換算価値の低下により損失が生じるおそれがあります。

【信用リスク】

有価証券の発行者等の経営・財務状況の悪化にともなって価値が減少し、損失が生じるおそれがあります。

【流動性リスク】

投資資産の流動性・換金性の低下にともない、換金できない、または条件が非常に不利になる可能性があります。

<利益相反に関する開示事項>

- 本資料は、株式会社 Argo Navis（代表：清水洋介氏）があかつき証券株式会社との契約に基づき、レポートの提供を一定の期間にわたって定期的、継続的に行うことに対する包括的な対価を得ておりますが、レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。
- 銘柄選定は株式会社 Argo Navis が行っており、銘柄指定は一切受けておりません。
- 株式会社 Argo Navis と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

<手数料等諸経費費用について>

お取引にあたっては、取引金額に当社所定の料率をかけて計算した委託手数料等の費用が発生します。

---

<ディスクレマー>

本「緊急レポート」は、投資の参考になる情報の提供を目的として、作成されたものです。株式のリスク要因として、株価変動リスク、発行者の信用リスク等があります。投資に関する最終意思決定は、ご利用者ご自身の判断で決定されるようお願いいたします。本「緊急レポート」の情報は、その正確性、信頼性について、あかつき証券及びデータ提供者のいかなる関係者も保証するものではありません。誤字、脱字などによる単純な表記ミス等による理由も含め、何らかの理由により誤りである可能性もあります。なお、本「緊急レポート」は、株式会社 Argo Navis（代表：清水洋介氏）があかつき証券との契約によって作成しています。

●日本の株式を売買する場合には、約定金額に対して最大 1.242% (税込)、又は約定代金の 1.242%に相当する金額が 2,700 円に満たない場合は、2,700 円 (税込) の委託手数料をいただくことになります。外国の株式等を売買する場合には、売買金額 (約定金額に現地委託手数料および税金等を加減した金額) に対し、最大 16.2% (税込) の国内取次手数料がかかります。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国 (市場) により異なります。外国株式等の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。日本および外国の株式等を募集により、あるいは当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただく場合がございます。詳しくは、契約締結前交付書面、または目論見書等をよくお読みください。

●投資信託については、それぞれの銘柄毎に販売手数料の他、残高に対して一定の料率をかけて計算した信託報酬その他費用が発生する場合があります。

広告審査番号：270520

---

<ディスクレマー>

本「緊急レポート」は、投資の参考になる情報の提供を目的として、作成されたものです。株式のリスク要因として、株価変動リスク、発行者の信用リスク等があります。投資に関する最終意思決定は、ご利用者ご自身の判断で決定されるようお願いいたします。本「緊急レポート」の情報は、その正確性、信頼性について、あかつき証券及びデータ提供者のいかなる関係者も保証するものではありません。誤字、脱字などによる単純な表記ミス等による理由も含め、何らかの理由により誤りである可能性もあります。なお、本「緊急レポート」は、株式会社 Argo Navis (代表：清水洋介氏) があかつき証券との契約によって作成しています。